

公益財団法人 中外創薬科学財団
令和6年(2024年)度 海外留学助成金B(現在留学中の方)
募集要項

趣 旨	<p>海外の大学等の研究機関において創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行う事を目的とした海外留学を促進するために、若手研究者に最長2年間の留学に伴う経費を補助する。</p> <p>海外留学助成金B(現在留学中の方)は<u>現在留学中の方を対象としており、引き続き留学を継続するための助成金</u>です。</p>
応募資格	<ol style="list-style-type: none">1) 創薬並びに生命科学に関する基礎あるいは応用研究を行うために、以下の所定の期間(助成を開始後)に1年以上、海外の研究機関で研究を行うことが内定している研究者。 2025年4月から2026年3月に助成を開始すること、かつ助成を開始してから1年以上研究を継続することが内定している場合に申請可能。2) 申請時に海外の研究機関において研究を行っている研究者。3) 博士号を取得している研究者で原則、申請時に35歳以下の研究者(出産・育児等ライフイベントを考慮)。4) 日本在住の経験があり、日本の創薬・生命科学研究に貢献できる研究者。5) 本財団が定める以下の研究テーマに関する研究に従事すること。6) 留学先研究機関の責任者または受入研究室の責任者の承諾を得ている者。受入先承諾書(レターヘッド付き書面にて受入先責任者のサインがあるもの)を提出すること。7) 原則、営利企業に属している研究者の留学及び営利目的の民間研究所等への留学は除く。
研究テーマ	<ol style="list-style-type: none">(1) 生命科学研究: 日本人の死因が高位であるがん、循環器疾患、老衰、呼吸器疾患、認知症といった領域を中心として、その病態バイオロジーの解明・理解にかかわる研究など。(2) 創薬基盤研究: 革新的創薬に必要な基幹技術(有機化学合成、スクリーニング技術、AI創薬、マイクロバイオーム創薬などの新規技術を含む)に関する研究など。(3) 創薬応用研究: 基礎から臨床に至るトランスレーショナルな研究や薬物の作用機序や動態を研究し、革新的治療法を確立するための研究など。

助成金額	滞在費 450 万円／年（復路航空チケット代は別途支給）
助成期間	原則として1年以上、最長2年間
助成件数	2件程度
募集期間	令和6年（2024年）11月1日～12月15日
募集方法	<p>本財団ウェブサイトよりマイページ登録後、申請手順の流れに沿って申請すること。 <u>申請は留学中の研究者本人が行うこと。</u></p> <p>【申請時必要書類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請書（概要）（※） ・履歴書（※） ・海外学術研究機関の受入承諾書（レターヘッド付き書面） 留学受入期間（年月日）、給与支給の有無等が記載されていること。 <p>詳細については、「別紙」並びにウェブサイトの「助成金申請に関するよくあるご質問」を参照のこと。</p> <p>（※）フォーマットは<u>募集期間中</u>に申請受付フォームよりダウンロードすること。</p>
選考方法	選考委員会で審議し、理事会で決定する。
採択結果の通知	採否の結果は、3月頃にウェブサイトにて採択者一覧を公開する。公開前日に申請者全員にウェブサイトの URL を電子メールにて通知する。なお、採択者には別途採択通知を電子メールに添付して送付する。
助成金の交付	原則、助成開始1ヶ月前に指定された銀行口座に一括で振込む。次年度は、3か月ごとに指定された銀行口座に振込む。
報告の義務	<ol style="list-style-type: none"> 1) 助成開始1ヶ月前までに留学先住所及びE-mailアドレス等を必ず報告すること。また、留学先が途中で変更になる場合や帰国時にも必ず報告すること。 2) 「中間報告書」を助成開始1年後にマイページより提出すること。 3) 「研究報告書」を助成期間終了後1か月以内にマイページより提出すること。研究報告の内容については、報告を財団宛に行うことの了解を事前に留学先に得ておくこと。 4) 帰国後直近に行われる財団主催の助成研究報告会にて発表を行うこと。 5) 研究成果を外部発表される場合は「公益財団法人 中外創薬科学財団（英文名：Chugai Foundation for Innovative Drug

	<p>Discovery Science) の助成による」旨を記載し、外部発表の論文のコピー等を PDF にて電子メールに添付のうえ、財団宛に送付すること。</p> <p>例文</p> <p>[和文]：本研究は、公益財団法人 中外創薬科学財団 (C-FINDs) の助成を受けたものです。</p> <p>[英文]：This work was supported by Chugai Foundation for Innovative Drug Discovery Science : C-FINDs.</p> <p>6) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、届出を電子メールに添付のうえ、速やかに財団宛てに提出すること。</p>
<p>そ の 他</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本財団学術研究助成金、奨学金と本助成金を重複して受領することはできない。ただし、学術研究助成金、奨学金の受領が今年度で終了し、これらの助成が予定されていない次年度にこの海外留学助成金 B を開始するために、今年度に海外留学助成金 B に申請することは可能。 2) 留学終了後、速やかに日本に帰国する場合は、最安値の経路の復路の航空チケット(エコノミークラス)を滞在費とは別に支給する。 3) 申請書類は採否に関わらず一切返却しない。 4) 採択された申請に関する情報(氏名、所属、研究テーマ、研究内容等)を財団ウェブサイト及び活動報告集、助成研究報告集に公表・掲載する。 5) 過去に海外留学助成金を受領したことがある場合には再度申請することはできない。 6) これから留学を開始する場合は、海外留学助成金 A (これから留学される方) に申請すること。
<p>お問い合わせ</p>	<p>公益財団法人 中外創薬科学財団 事務局 海外留学助成事務担当</p> <p>〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-11-5</p> <p>住友不動産日本橋本町ビル 9 階</p> <p>TEL:03-5843-6733(代表)、E-mail: grant@c-finds.com</p>

別 紙

申請時提出書類に関する注意事項

海外学術研究機関の「受入承諾書」について

受入先研究機関のレターヘッドのある、留学先受入研究者（PI）から申請者宛ての受入承諾書をアップロードしてください。以下の項目が記載されていることを確認してください。

- ・ 留学受入期間（年月日）
- ・ 受入先でのポジション
- ・ 受入先研究機関からの給与支給有無、有る場合には金額
- ・ 留学先受入研究者のサイン

受入期間について、受入承諾書には受入研究機関の規定等により、「留学期間 1 年間」に記載が制限されている場合において（すなわち留学期間 2 年間と記載できない場合）、2 年目の助成金の受領が内定していれば留学期間の延長が認められる場合には、その旨を申請フォームの「その他」欄に記載したうえで、申請時に「留学期間」、「希望する助成期間」ともに 2 年の期間で申請することは可能です。